

# SID R

# 滋賀県感染症情報

## SHIGA Infectious Diseases Report

### 《週報》

第1巻第24号

第37週(9月10日～9月16日)

発行年月日:平成13年(2001年)9月25日

発行:滋賀県立衛生環境センター内  
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

### 1) 全数報告の感染症(1類～4類)

感染症類型	疾患名	報告数 (37週)	累積報告数 (1週～37週)
1類感染症	報告なし	-	-
2類感染症	細菌性赤痢	0	3
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	4	42
4類感染症	アメーバ赤痢	0	5
	急性ウイルス性肝炎	0	2
	後天性免疫不全症候群	0	3
	ジアルジア症	0	1
	梅毒	0	2

### 2) 定点把握の対象となる4類感染症

疾患名	定点当たり患者数		
	37週	増減	31～36週の平均
インフルエンザ	0		0
咽頭結膜熱	0.10		0.36
A群溶連菌咽頭炎	0.04		0.14
感染性胃腸炎	0.60		0.79
水痘	0.27		0.30
手足口病	0.25		0.28
<b>伝染性紅斑</b>	0.25		0.13
突発性発疹	0.33		0.38
百日咳	0		0
<b>風疹</b>	0.02		0.01
ヘルパンギーナ	0.04		1.17
麻疹	0		0.07
流行性耳下腺炎	0.65		0.81
急性出血性結膜炎	0		0
流行性角結膜炎	0.29		0.93
急性脳炎	0		0
細菌性髄膜炎	0		0
無菌性髄膜炎	0		0.12
マイコプラズマ肺炎	0.14		0.26
クラミジア肺炎	0		0
成人麻疹	0		0

\* 増減は、31週～36週の平均に対する今週との比較  
増加 減少 変化なし

\* 太字は、今週の注目される疾患です。

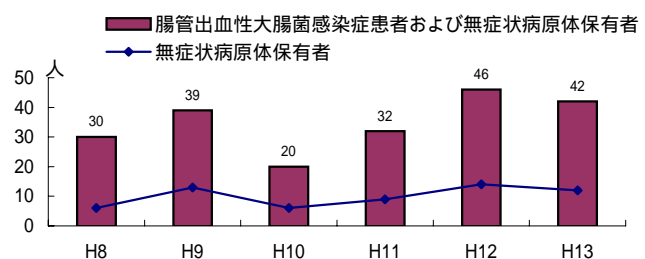
### 3) 今週のトピックス

#### 患者情報

滋賀県における定点当たり患者数について、31～36週の平均と37週を比較すると、伝染性紅斑、風疹に増加傾向が見られます。また、感染性胃腸炎、伝染性紅斑は前週(36週)より患者報告数が多くなっています(2～3ページのグラフ参照)。腸管出血性大腸菌感染症の発生数は、昨年の同時期(37週)と比較すると14件増加しています。今後とも発生動向に対する注意が必要です。

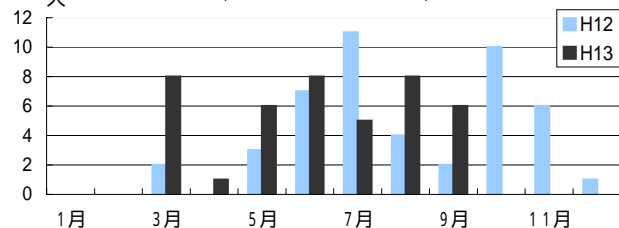
#### 腸管出血性大腸菌感染者の年別発生状況

(滋賀県:H8.1～H13.9.16)



#### 腸管出血性大腸菌感染者の月別発生状況

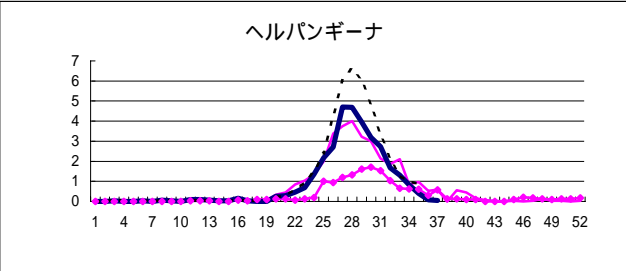
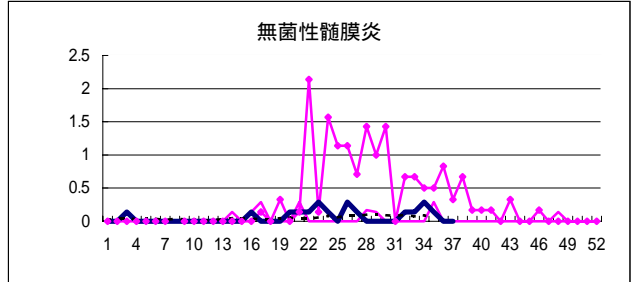
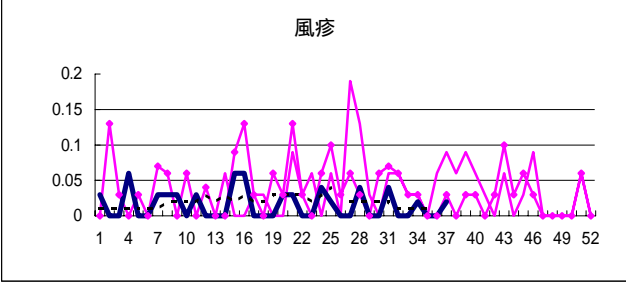
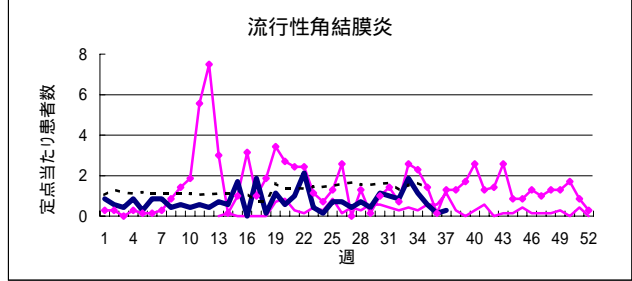
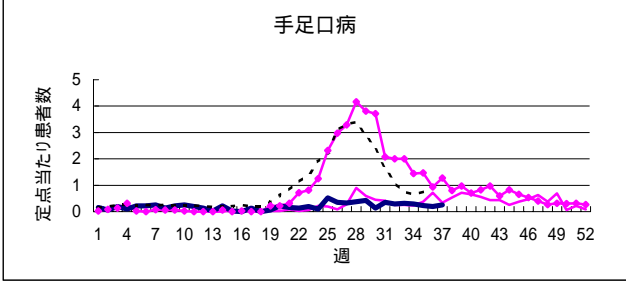
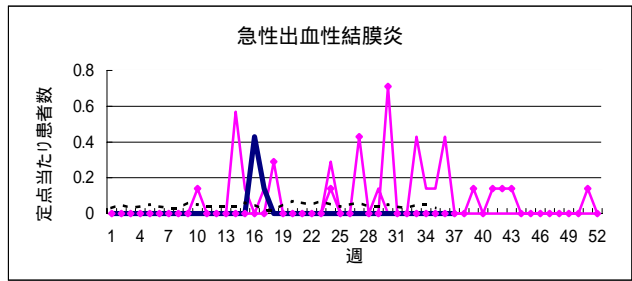
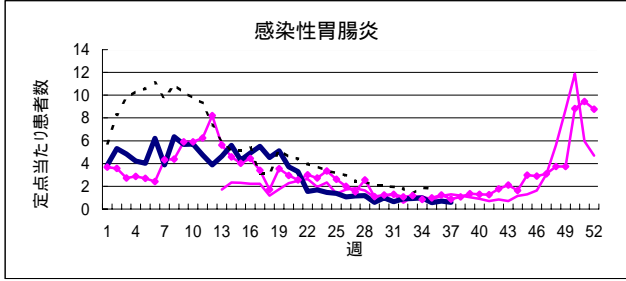
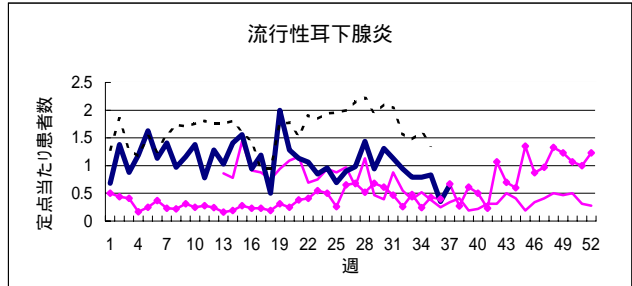
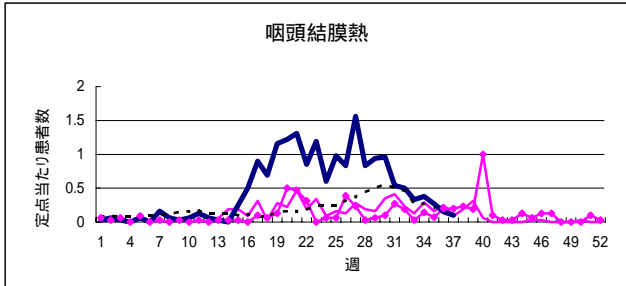
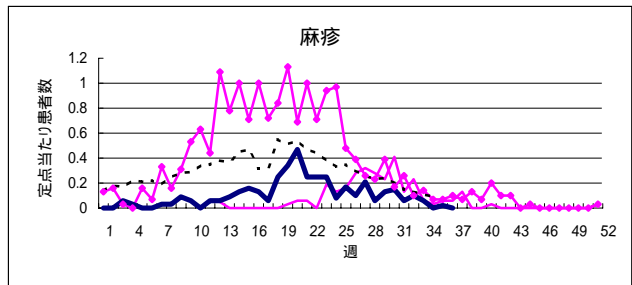
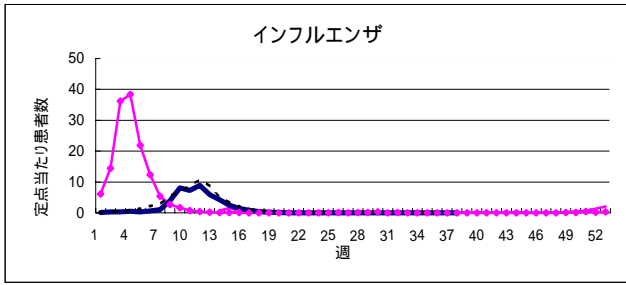
(滋賀県:H12.1～H13.9.16)



全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**において公表されています。

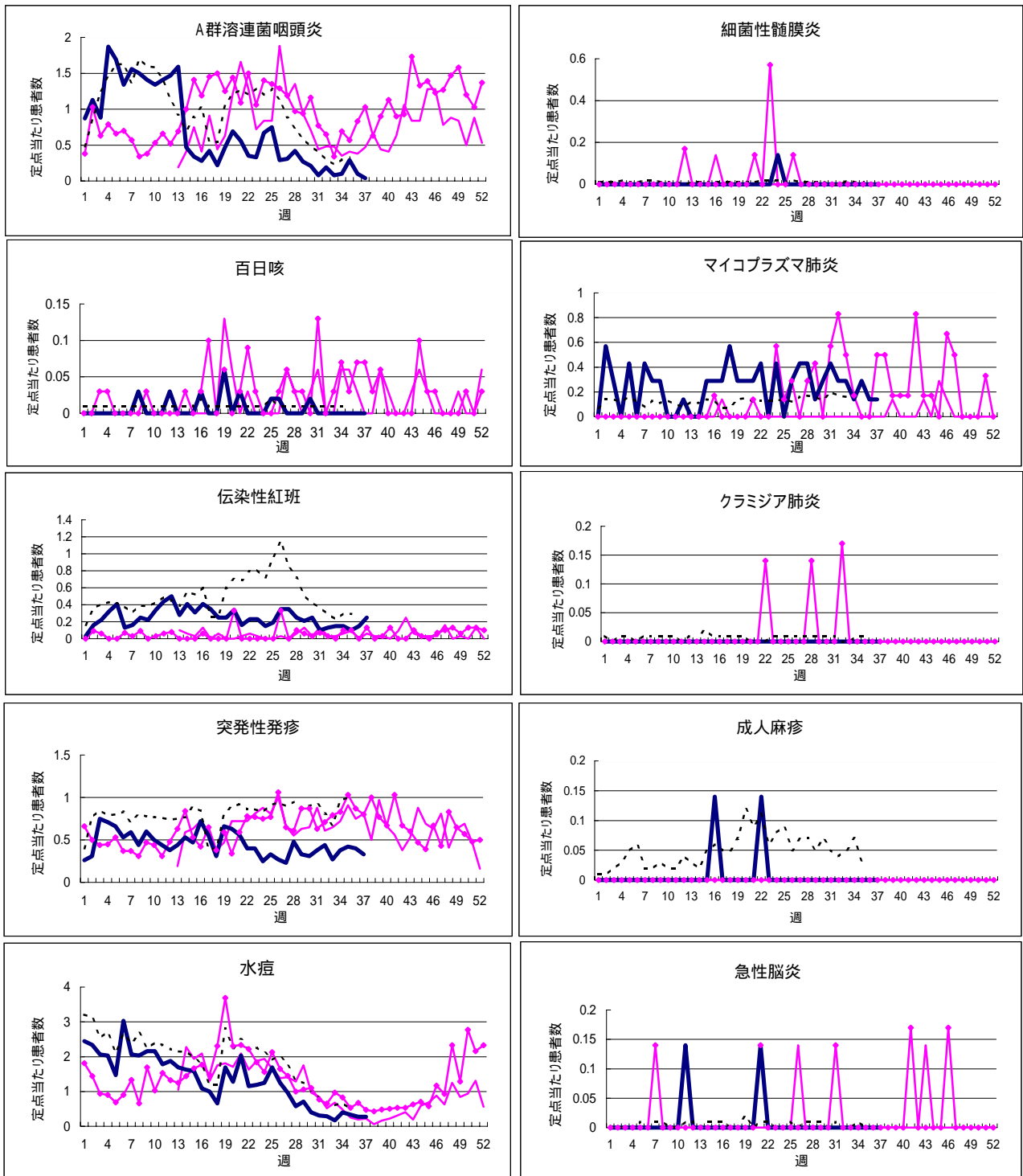
(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)

疾病別定点当たり患者数(平成13年第1週～第37週)



滋賀 { H11 ————  
       H12 ●————●  
       H13 —————  
 全国 { H13 - - - - -

## 疾病別定点当たり患者数(平成13年第1週～第37週)



滋賀 { H11 ————  
       H12 ●————●  
       H13 —————  
 全国 { H13 - - - - -